

国語 教科の目標 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

国語 第2学年の目標 （１）社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。 （２）論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 （３）言葉が持つ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。
--

※【知】は「知識・技能」、【思】は「思考・判断・表現」、【態】は「主体的に学習に取り組む態度」

月	単元名	学習内容	評価規準		評価資料
4	広がる学びへ ・アイスブラネット ・問いを立てながら聞く ・枕草子 ・情報整理のレッスン ・多様な方法で情報を集めよう ・漢字1 ・漢字に親しもう1	①さまざまな文章に触れ、言葉の豊かさに気づく。 ②登場人物の考え方や生き方を捉え、考えたことを文章にまとめる。 ③話の要点を的確にとらえ、意見や根拠が適切であるか検討する。 ④作者のものの見方や感じ方を読み取る。 ⑤情報を整理し、視覚的に表す方法を理解する。 ⑥多様な方法で情報を集め、伝えたいことを明確にして、作品を作る。 ⑦熟語の構成の種類について理解する。	【知】	・第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、五感を磨き語彙を豊かにしている。 ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 ・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。 ・現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。	【知】ABCDE
			【思】	・「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 ・「話すこと・聞くこと」において、論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 ・「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えている。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。	【思】ACEF
			【態】	・積極的に登場人物の設定のしかたなどを捉え、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。 ・進んで論理の展開などに注意して聞き、今までの学習を生かして疑問点や確認したい点を考えようとしている。 ・進んで文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、学習課題に沿って自分ならではの季節感を表す文章を書こうとしている。 ・学習課題に沿って、積極的に情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し、使おうとしている。 ・粘り強く多様な方法で集めた材料を整理し、学習の見通しをもって職業ガイドを作ろうとしている。 ・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	【態】ABC
5			【知】	・言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気付いている。 ・第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解している。 ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 ・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。	【知】ABCDE
			【思】	・「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。 ・「話すこと・聞くこと」において、資料や機器を用いるなどして、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫している。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 ・「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えている。 ・「読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈している。 ・「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。	【思】ABCG
6	多様な視点から ・クマゼミ増加の原因を探る ・思考のレッスン1 ・魅力的な提案をしよう ・漢字に親しもう2 ・文法への扉1 ・情報社会を生きる	①構成を捉え、説明の工夫を考える。 ②文章を読み、構成や内容、図表との関係について考える。 ③具体と抽象の概念を理解する。 ④資料を示して、魅力的なプレゼンテーションをする。 ⑤自立語について、分類の観点や各品詞の性質などを理解する。 ⑥メディアの特徴を踏まえて、情報との付き合い方を考える。			

7			【態】	- 積極的に文章と図表などを結び付け、学習の見通しをもって考えたことを話し合おうとしている。 - 学習課題に沿って、積極的に具体と抽象の関係について理解しようとしている。 - 粘り強く自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫し、学習の見通しをもってプレゼンテーションをしようとしている。 - 学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。 - 今までの学習を生かして、積極的に自立語について理解を深めようとしている。 - 粘り強く観点を明確にして文章を比較し、学習課題に沿って目的や状況に応じたメディアの選び方を理解しようとしている。	【態】 ABC
	言葉と向き合う ・短歌に親しむ ・言葉の力 ・言葉1 ・言葉を比べよう ・読書生活を豊かに	①表現を味わい、言葉の世界を広げる。 ②短歌の形式や表現の特徴を理解し、情景を想像しながら読む。 ③文章を要約し、内容を捉え、筆者の考え方について話し合う。 ④類義語・対義語・多義語について理解する。 ⑤言葉を分類したり、比較して理解することで、語感を豊かにする。 ⑥さまざまな読書活動により、読書に対する意欲・関心を高める。	【知】	- 抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、五感を磨き語彙を豊かにしている。 - 本や文章などには、様々な立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。	【知】 ABCE
			【思】	「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。 「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。	【思】 AD
			【態】	- 進んで短歌の構成や表現の効果について考え、学習の見通しをもって短歌を創作しようとしている。 - 進んで文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。 - 今までの学習を生かして、積極的に抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨こうとしている。 - 本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを進んで知り、今までの学習を生かして、本の魅力や感想を共有しようとしている。 - 進んで表現の効果について考え、学習課題に沿って二つの翻訳を比べて感じたことを発表しようとしている。	【態】 ABCD
	人間のきずな ・字のない葉書 ・聞き上手になろう ・表現を工夫して書く ・表現の効果を考える ・言葉2 ・漢字2 ・漢字に親しもう3	①さまざまな関係を捉え、考えを深める。 ②登場人物の描写や言動に着目し、意味を考える。 ③表現に着目して、人柄や心情を読み取る。 ④的確なインタビューで、相手の思いや考えを引き出す。 ⑤相手や目的に応じて通信手段を選び、通信文を書く。 ⑥表現の効果に着目して、文章を推敲する。 ⑦敬語の働きや種類を理解し、適切な使い方を考える。 ⑧同じ訓を持つ漢字や同音異義語の使い分けを理解する。	【知】	- 言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気付いている。 - 第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。 - 抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、五感を磨き語彙を豊かにしている。 - 敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使っている。 - 本や文章などには、様々な立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。	【知】 ABCE
			【思】	「話すこと・聞くこと」において、論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。 「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。 「読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈している。 「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。	【思】 ABCDE
			【態】	- 粘り強く登場人物の言動の意味について考え、学習課題に沿って作品の印象を伝え合おうとしている。 - 進んで表現の効果について考え、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。 - 粘り強く論理の展開に注意して聞き、今までの学習を生かして思いや考えを引き出す質問をしようとしている。 - 積極的に自分の考えが伝わる文章になるように工夫し、学習課題に沿って通信手段を選び、通信文を書こうとしている。 - 粘り強く文章を整え、今までの学習を生かして手紙を推敲しようとしている。 - 今までの学習を生かして、積極的に敬語の働きについて理解しようとしている。 - 学習課題に沿って、積極的に同音異義語を理解し、漢字を読んだり書いたりしようとしている。	【態】 ABC
			【知】	- 第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。 - 抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、五感を磨き語彙を豊かにしている。 - 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。	【知】 ABCE
	9				
	10				

11	論理を捉えて ・モアイは語る ・思考のレッスン2 ・根拠の適切さを考えて書こう ・漢字に親しもう4 ・異なる立場から考える ・立場を尊重して話し合おう ・月夜の浜辺	①根拠を吟味し、説得力を高める。 ②文章の構成に着目し、内容を捉え、論理の展開を吟味し、自分の考えをまとめる。 ③根拠を吟味する方法を理解する。 ④立場を決めて考えをまとめ、攻勢を考えて意見文を書く。 ⑤異なる捉え方や考え方があることを理解し、話し合いの基本的な心構えを持つ。 ⑥互いの立場や考えを尊重しながらグループで討論する。 ⑦詩を朗読し、響きやリズムを味わい、情景や心情を読み取る。	【思】	・「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。 ・「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 ・「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。	【思】ABCDE
			【態】	・粘り強く論理の展開について考え、学習の見通しをもって筆者の主張に対する自分の考えを文章にまとめようとしている。 ・今までの学習を生かして、積極的に意見と根拠の関係について理解しようとしている。 ・粘り強く根拠の大切さを考え、学習の見通しをもって意見文を書こうとしている。 ・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。 ・進んで意見と根拠の関係について理解し、今までの学習を生かして異なる立場の人の意見を想定しようとしている。 ・進んで互いの立場や考えを尊重し、学習の見通しをもって討論しようとしている。 ・進んで表現の効果について考え、今までの学習を生かして詩を朗読しようとしている。	【態】ABC
	いにしへの心を訪ねる ・源氏と平家 ・平家物語 ・扇の的 ・仁和寺にある法師 ・漢詩の風景	①昔の人の物の見方や考え方に触れ、古典に親しむ。 ②「平家物語」の冒頭部分や「扇の的」を朗読し、登場人物の言動から心情を考える。 ③「徒然草」の冒頭部分や「仁和寺にある法師」を朗読し、内容を捉え、作者の物の見方や考え方について考える。 ④漢詩の特徴を生かして朗読し、季節・情景・作者の心情を読み味わう。	【知】	・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。 ・現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。	【知】ABCD
			【思】	・「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。 ・「読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。	【思】AG
		【態】	・進んで古典に表れたものの見方や考え方を知り、学習課題に沿って朗読しようとしている。 ・進んで登場人物の言動の意味について考え、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。 ・積極的に考えたことを知識や経験と結び付け、学習の見通しをもって登場人物について論じる文章を書こうとしている。 ・進んで作品の特徴を生かして朗読し、学習課題に沿って好きな漢詩を選び、その理由を述べようとしている。	【態】ABC	
12	価値を語る ・君は「最後の晩餐」を知っているか ・魅力を効果的に伝えよう ・漢字に親しもう5 ・文法への扉2 ・読書に親しむ ・行書と楷書	①自分にとっての価値を見極め、伝え合う。 ②文章を比較して、構成や表現の特徴を捉え、考えたことを文章にまとめる。 ③表現の効果を考え、鑑賞文を書く。 ④動詞・形容詞・形容動詞の活用について理解する。 ⑤研究に関する本をきっかけに読書の幅を広げる。 ⑥行書と仮名の調和を意識して書く。	【知】	・第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、五感を磨き語彙を豊かにしている。 ・単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解している。 ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 ・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。 ・本や文章などには、様々な立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。 ・行書と仮名の調和のポイントを理解し、書いている。	【知】ABCEF
			【思】	・「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 ・「書くこと」において、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章の良い点や改善点を見いだしている。 ・「読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。	【思】ACDF
			【態】	・粘り強く観点を明確にして文章を比較し、今までの学習を生かして考えたことを文章にまとめようとしている。 ・進んで表現の効果を考えて描写し、今までの学習を生かして鑑賞文を書こうとしている。 ・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。 ・今までの学習を生かして、積極的に単語の活用について理解しようとしている。 ・本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを進んで知り、今までの学習を生かして、感想を伝え合おうとしている。	【態】ABCD

1 2 3	表現を見つめる ・走れメロス ・漢字に親しもう6 ・文法への扉3 ・構成や展開を工夫して書こう ・言葉3 ・漢字3 ・国語の学びを振り返ろう ・木 ・行書と楷書	①多様な表現に触れ、自分の経験と重ねながら理解を深める。 ②人物像や表現に着目し、作品の魅力についてまとめる。 ③助動詞・助詞の種類と働きについて理解する。 ④構成や展開を工夫して物語を書く。 ⑤話し言葉と書き言葉の特徴を捉える。 ⑥送り仮名の付け方の原則と冷害について理解する。 ⑦一年間の学びを振り返り、話し合って壁新聞を作る。 ⑧詩を読み味わい、作者のものの見方について語り合う。 ⑨行書と仮名の調和を意識して書く。	【知】	・話し言葉と書き言葉の特徴について理解している。 ・第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、五感を磨き語彙を豊かにしている。 ・単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解している。 ・話や文章の構成や展開について理解を深めている。 情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。 ・行書と仮名の調和のポイントを理解し、書いている。	・情報と	【知】 ABCE
			【思】	・「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。 ・「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。 ・「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 ・「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。 ・「書くこと」において、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章の良い点や改善点を見いだしている。 ・「読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。		【思】 ABCD EFG
			【態】	・粘り強く登場人物の言動の意味などについて考え、学習の見通しをもって作品の魅力を文章にまとめようとしている。 ・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。 ・今までの学習を生かして、積極的に助詞や助動詞の働きについて理解しようとしている。 ・粘り強く文章の構成や展開を工夫し、学習の見通しをもって物語を創作しようとしている。 ・今までの学習を生かして、積極的に話し言葉と書き言葉の特徴について理解しようとしている。 ・粘り強く文章の構成や展開を工夫し、今までの学習を生かして壁新聞を作ろうとしている。 ・進んで詩を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、学習課題に沿って作者のものの見方について話し合おうとしている。		【態】 ABCD